

2020年12月11日

新型コロナウイルス感染症対策に関する声明 ～感染拡大防止のために国が行うべきこと～

一般社団法人日本病院会
会長 相澤孝夫

新型コロナウイルス感染症は、全国で依然として感染拡大状況が続いている。このままでは爆発的な拡大につながりかねない懸念がある。この拡大に比例して重症あるいは重症予備軍の患者の増加は当然の帰結である。医療現場では、今でもこれら重症者等の診療を必死に行っているものの、感染拡大がこのまま続けば、医療崩壊は必至のおそれ大である。

今こそ国は、病院や医療従事者を最前線に立たせるのではなく、国が先頭に立ち国民の行動抑制と感染制御を最優先とする戦旗を掲げ、コロナウイルスと真剣に向き合うべきと考える。既に医師や看護師、メディカルや事務職員の退職や社会的差別が見られ、医療従事者の心身の疲弊は限界にある。このタイミングを逃すと、これまで頑張ってきた医療従事者の努力や犠牲が全て無駄になる。

しかるに専門組織である新型コロナウイルス感染症対策分科会からの意見が、政府方針に充分反映されているとはいえない。したがって、同分科会からの意見も取り入れ、以下を声明する。

1. 新型コロナウイルス感染症のこれ以上の拡大を防止するため、GoTo キャンペーンを即刻に中止とすること。なお、経済活動の重要性は十分に認識する故、あくまでも一時的中止を求めるものであり、感染制御がなされたしかるべき時期の再開を妨げるものではない。
2. 三密の厳守は、クラスター発生も低減させるものであり、これの徹底と、接触制限の遵守があまねくおこなわれるよう、必要十分な施策をとること。

以 上